

ID	
氏名	
年齢	
科名	病棟

# PEM+CBDCA+Durvalumab 療法

3週毎 4コース予定

疾患名 非小細胞肺癌

主治医 指導医

HBs抗原( )、HBs抗体( )、HBc抗体( )

スケジュール

day 1

イミフィンジ(デュルバルマブ)	1500 mg/body	↓
ペメトレキセド	500 mg/m <sup>2</sup>	↓
カルボプラチナ	AUC 5	↓

【注意】 \* 他剤使用時はデュルバルマブ投与前に血管確保用生食にてフラッシュすること。

\* デュルバルマブ投与時は0.2又は0.22 μmのインラインフィルターを通して投与すること。

\* 体重30 kg以下の場合のデュルバルマブの1回投与量は、20 mg/kgとすること。

\* ペメトレキセド投与の7日以上前よりパンビタン末を1g 分1で内服開始<sup>(注1)</sup>

\* ペメトレキセド投与の7日以上前より

メチコバール注500 μg 2A(1 mg)を筋注(以後9週間毎)<sup>(注2)</sup>

注1:投与中止または終了する場合には、最終投与日から22日目まで可能な限り投与する

注2:投与期間中及び投与中止後22日目まで9週ごと(3コースごと)に1回投与する

通常量より減量する際の理由

(レジメン)

Day 1

① 生食 500 mLで血管確保

維持(20 mL/時間)

② イミフィンジ 1500 mg + 生食 70 mL

点滴静注60分(100 mL/時間)

◎メインの生食でフラッシュ

③ アロカリス 235 mg + パロノセトロン 0.75 mg + デキサメタゾン 4.95 mg + 生食 100 mL

点滴静注30分(200 mL/時間)

◎メインの生食でフラッシュ

④ ペメトレキセド + 生食 100 mL

点滴静注10分(600 mL/時間)

◎メインの生食でフラッシュ

⑤ カルボプラチン + 5%ブドウ糖 250 mL 点滴60分(280 mL/時間)

◎終了後、メインの生食でルート内フラッシュ

Day 2-3 必要時 デキサメタゾン錠 4 mg 1×朝 内服

	1 コース	2 コース	3 コース	4 コース
月 日	/	/	/	/
イミフィンジ 開始時刻	↓	↓	↓	↓
ペメトレキセド 開始時刻	↓	↓	↓	↓
カルボプラチン 開始時刻	↓	↓	↓	↓
確認				